

第1回庁内推進本部会議で決定した埼玉版SDGsの重点テーマ「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」を基に、内閣府の「SDGs未来都市」への提案を行う **【計画期間3年間】**

### 【SDGs未来都市の概要】

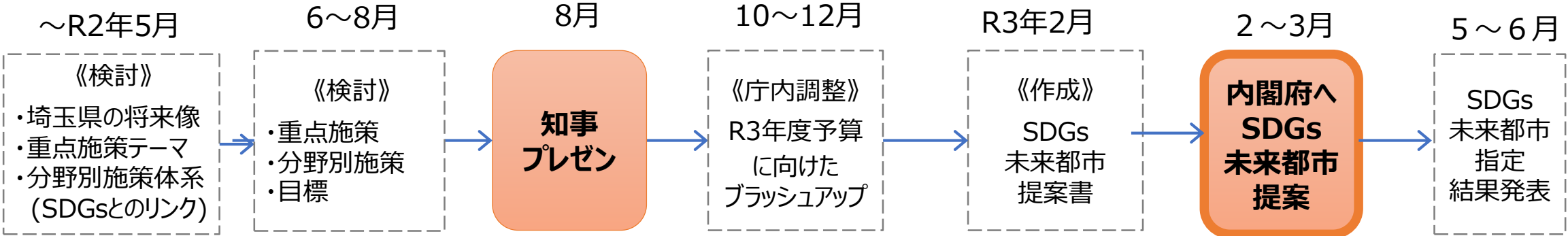
- 内閣府が自治体からSDGsの達成に向けた提案を公募し、優れた取組を行う自治体を「SDGs未来都市」として選定(30都市程度)。
- 選定された都市は、国と連携しながら提案内容を基に **3年間の計画**を策定するとともに、達成に向けた取組を積極的に実施。

### 【提案内容】

将来ビジョン	地域の実態、2030年の目指す将来像、経済・社会・環境の三側面に係る優先的なゴール・ターゲット及びKPI
取組内容	今後3年間に進める取組、情報発信、他地域への普及展開性
推進体制	総合計画、個別計画等へのSDGsの反映、行政内部の執行体制、ステークホルダーとの連携
モデル事業	三側面をつなぐ統合的取組事業

※特に先導的なモデル事業（三側面をつなぐ統合的取組事業）は「自治体SDGsモデル事業」として選定（10事業）され、1年度限りの補助金（2,700万円上限）が交付される。

### 【SDGs未来都市提案までのスケジュール】



# 2018年度～2020年度『SDGs未来都市』選定都市一覧

2018年選定(全29都市) ※都道府県・市区町村コード順				2019年選定(全31都市) ※都道府県・市区町村コード順				2020年選定(全33都市) ※都道府県・市区町村コード順					
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名		
北海道	★北海道	静岡県	静岡市	岩手県	陸前高田市	滋賀県	★滋賀県	岩手県	岩手町	滋賀県	湖南市		
	札幌市		浜松市	福島県	郡山市	京都府	舞鶴市	宮城県	仙台市	京都府	亀岡市		
	二七〇町	愛知県	豊田市	栃木県	宇都宮市	奈良県	生駒市	宮城県	石巻市	大阪府	★大阪府・大阪市		
	下川町	三重県	志摩市	群馬県	みなかみ町		三郷町		山形県		鶴岡市	豊中市	
宮城県	東松島市	大阪府	堺市	埼玉県	さいたま市		広陵町	埼玉県	春日部市		富田林市		
秋田県	仙北市	奈良県	十津川村	東京都	日野市	和歌山県	和歌山市	東京都	豊島区	兵庫県	明石市		
山形県	飯豊町	岡山県	岡山市	神奈川県	川崎市	鳥取県	智頭町	神奈川県	相模原市	岡山県	倉敷市		
茨城県	つば市		真庭市		小田原市		日南町	石川県	金沢市	広島県	東広島市		
神奈川県	★神奈川県	広島県	★広島県	新潟県	見附市	岡山県	西粟倉村	石川県	加賀市	香川県	三豊市		
	横浜市	山口県	宇部市	富山県	★富山県	福岡県	大牟田市		能美市	愛媛県	松山市		
	鎌倉市	徳島県	上勝町	南砺市	福津市		長野県		大町市	高知県	土佐町		
富山県	富山市	福岡県	北九州市	石川県	小松市	熊本県	熊本市	岐阜県	★岐阜県	福岡県	宗像市		
石川県	珠洲市	長崎県	吉崎市	福井県	鯖江市	鹿児島県	大崎町	静岡県	富士市	長崎県	対馬市		
	白山市	熊本県	小国町	★愛知県	徳之島町		愛知県		岡崎市	熊本県	水俣市		
長野県	★長野県	愛知県	名古屋市	沖縄県	恩納村	三重県	いなべ市	愛知県	岡崎市	鹿児島県	鹿児島市		
			豊橋市								★三重県	沖縄県	石垣市

※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体  
 ※★はSDGs未来都市のうち都道府県（10道府県）


# 2021年度SDGs未来都市全体計画提案概要(提案様式2)

提案全体のタイトル:「日本一暮らしやすい埼玉県」へ～埼玉版SDGsの推進～

提案者名:埼玉県

## 全体計画の概要

「安心・安全の追究」、「誰もが輝く社会」、「持続可能な成長」の3つの将来像を見据え、豊かな自然環境に囲まれ都心からも近く暮らしやすい埼玉の特徴を生かしながら、多様なステークホルダーと連携し全県一丸となって社会課題の解決に取り組み、『日本一暮らしやすい埼玉県』を実現する。

1. 将来ビジョン	地域の実態	2030年のあるべき姿	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>超少子高齢化、人口減少社会への移行、新型コロナウイルス感染症の拡大など様々な課題に直面</li> <li>持続可能な成長を続けるためには、豊かな自然環境など地域の魅力を最大限生かし、経済・社会・環境の3側面でバランスのとれた暮らしやすく県民に愛される地域を構築していくことが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉版SDGsの推進の結果、3つの将来像「安心・安全の追究」、「誰もが輝く社会」、「持続可能な成長」を実現</li> <li>多様な主体が相互に連携し、誰ひとり取り残さない、持続可能な発展・成長を遂げる「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現</li> </ul>	
	2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット	<p>【経済】持続可能な経済発展に向けて成長分野に投資し、産業育成や企業の誘致を推進</p> <p>【社会】コンパクトで利便性が高いまちづくりなど、ポストコロナ時代の新たな人の流れに対応した取組の推進</p> <p>【環境】本県の特徴の一つである自然環境を守り育て生かしていくとともに、再エネ導入などカーボンニュートラル・脱炭素社会に向けた取組の推進</p> 	
2. 自治体SDGsの推進に資する取組	自治体SDGsに資する取組	情報発信	普及展開性
	<p style="background-color: #0056b3; color: white; text-align: center; padding: 2px;">豊かな自然と共生する社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉の豊かな自然環境を県民や企業など多様な主体が連携して守り育み、有効に活用し、人が集まり賑わうという好循環の仕組みの構築</li> <li>多種多様な動植物が生息・生育できる自然環境・生態系が創造・維持される取組の推進</li> <li>カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた、エネルギーの有効利用やライフスタイルの転換、CO2排出量削減の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民向けSDGsアプリによる情報発信</li> <li>埼玉県SDGs官民連携プラットフォームによるメルマガの配信やシンポジウム開催</li> <li>埼玉県環境SDGs取組宣言企業の実践内容をHPで公開</li> <li>企業向けSDGs経営セミナーにおける取組周知</li> <li>ジェトロ埼玉、JICA埼玉デスクと連携した海外への情報発信 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県で構築した以下の2つのフレームがあれば、他自治体においても、また別のテーマであっても応用が可能</li> <li>① 自治体内の縦割り排除の仕組みづくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 庁内一丸でSDGsを推進していく仕組み</li> <li>→ 重点テーマを部局横断で検討する仕組み</li> </ul> </li> <li>② ステークホルダー連携の仕組みづくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 産学官金等多様な主体と連携する仕組み</li> </ul> </li> </ul>
3. 推進体制	各種計画への反映	行政体内部の執行体制	ステークホルダーとの連携
	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県5か年計画(次期)(2022～2026年度)</li> <li>埼玉県地球温暖化対策実行計画(第2期)(2020～2030年)</li> <li>埼玉県子育て応援行動計画(2020～2024年度)</li> <li>埼玉県防犯のまちづくり推進計画(2020～2024年度)</li> <li>埼玉県文化芸術振興計画(2021～2025年度)</li> <li>埼玉県農林水産業振興基本計画(2021～2025年度) 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「埼玉県SDGs庁内推進本部」の設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>・知事を本部長、副知事を副本部長、各部局長を本部員とし、全庁一丸の推進体制を構築</li> </ul> </li> <li>埼玉県の特性に応じたSDGsに重点的に取り組むべき2つのテーマの設定</li> <li>テーマごとの部局横断型の庁内ワーキンググループの設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」との連携             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業・団体、NPO、大学、市町村、メディアなど会員約400者と連携</li> <li>・諸課題解決を進める場を設定するとともに、全県的な体制で横展開を図る</li> </ul> </li> </ul>
	自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業等が自律的にSDGsに取り組むインセンティブを設定し、自ら行動に移していく自立好循環を目指す制度を構築             <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県SDGsパートナー登録制度:SDGsの取組を自ら実施、公表する企業体等を登録する制度。企業活動とSDGsとの関連性を明確化し、企業価値向上・競争力強化を図る仕組み</li> <li>・埼玉県環境SDGs取組宣言企業制度:環境分野のSDGsに取り組むことを宣言した企業等を県HP等で発信・支援する仕組み</li> </ul> </li> </ul>	

# 2021年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: 埼玉の豊かな水とみどりを守り育てる

ワンチーム埼玉プロジェクト

提案者名: 埼玉県

取組内容の概要: 埼玉県は、利根川や荒川などの豊かな河川に恵まれている。また、美しい山並みと森林に包まれ、そして見沼田圃や武蔵野の雑木林などの身近な緑に囲まれている。都心からも近く自然も豊かな埼玉を守り育て、故郷の財産として未来につなぐ取組を、多様なステークホルダーと連携しワンチームで推進していく。





# 埼玉の豊かな水とみどりを守り育てる 三側面統合及び三側面事業一覧

## 三側面統合の取組

部局	事業名
環境	SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト事業費
環境	みどりの美緑づくりバトンパス事業
環境	みどりの担い手づくり事業費
企財	埼玉版SDGs推進費

## 環境面

部局	事業名
環境	豊かな川を育む浄化槽台帳デジタル化推進事業費
環境	合併処理浄化槽転換促進事業費
環境	浄化槽検査監視指導費
下水	下水道段階的高度処理整備事業
環境	マイクロプラスチック削減対策事業費
県土	河川改修費(水辺)・緊急浚渫推進費
環境	身近な緑の保全事業費
環境	みどりの街なみ創出事業費
環境	みどりいっぱい園庭・校庭促進事業費
環境	緑のトラスト運動推進費
企財	水源地域保全等支援事業費
企財	見沼田圃保全・活用・創造事業推進費

## 経済面

部局	事業名
県土	川の再生推進費
農林	水辺周辺活用事業(農業用水)
農林	森林循環利用促進事業
農林	伝統的農業継承支援事業
農林	魚影豊かな川づくり推進支援事業

## 社会面

部局	事業名
都市	公園等建設費(動物園SDGs)
環境	生物多様性保全総合対策事業費
環境	みどりの担い手づくり事業費(再掲)
環境	自然ふれあい施設管理費
環境	自然公園満喫プロジェクト事業費
環境	環境学習推進事業費
環境	みどりの美緑づくりバトンパス事業(再掲)
教育	環境学習
農林	企業参入連携促進事業
企財	「住むなら埼玉」移住総合支援事業
農林	森がつなぐ山とまちの未来事業
企財	水源地域いきいき振興事業費
県土	水害リスク軽減対策費(県単)(国庫)(公共)
県土	砂防施設費・急傾斜地崩壊対策費
企業	大久保・吉見浄水場高度浄水処理施設整備事業費

# SGDs未来都市等提案に関するKPI一覧(自治体モデル事業)

## 自治体モデル事業に関するKPI

三側面	KPI	最新値(現状値)	目標値
【経済】	民間事業者等による河川空間の利活用件数	2020(令和2)年度 12件	2026(令和8)年度 24件
	県産木材の供給量	2019(令和元)年度 97,000m <sup>3</sup>	2026(令和8)年度 120,000m <sup>3</sup>
【社会】	生物多様性の認知度	2019(令和元)年度 63.9%	2026(令和8)年度 75%
	都市と山村の連携による森林整備の実施市町村	2020(令和2)年度 ---件	2026(令和8)年度 18市町村
	みどりの研修制度参加人数	2020(令和2)年度 66名	2026(令和8)年度 420名
【環境】	生活排水処理率	2019(令和元)年度 92.8%	2025(令和7)年度 100%
	身近な緑の創出面積	2019(令和元)年度 227ha	2026(令和8)年度 577ha

## 自治体モデル事業 三側面の相乗効果に関するKPI

相乗効果	KPI	最新値(現状値)	目標値
経済→環境	民間事業者等による河川空間の利活用件数(再掲)	2020(令和2)年度 12件	2026(令和8)年度 24件
	温室効果ガスの排出量削減率(2013(平成25)年度比)	2017(平成29)年度 7.8%減	2030(令和12)年度 26%減
環境→経済	水辺空間を活用したビジネスマッチングの件数	2020(令和2)年度 ---件	2026(令和8)年度 300件
経済→社会	SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーターの登録者数	2020(令和2)年度 ---人	2026(令和8)年度 30,000人
社会→経済	民間事業者等による河川空間の利活用件数(再掲)	2020(令和2)年度 12件	2026(令和8)年度 24件
	都市と山村の連携による森林整備の実施市町村(再掲)	2020(令和2)年度 ---市町村	2026(令和8)年度 18市町村
社会→環境	生物多様性の認知度(再掲)	2019(令和元)年度 63.9%	2026(令和8)年度 75%
	SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーターの登録者数(再掲)	2020(令和2)年度 ---人	2026(令和8)年度 30,000人
環境→社会	みどりの研修制度参加人数(再掲)	2020(令和2)年度 66名	2026(令和8)年度 420名